

ヤングケアラー支援に係る「校内研修パッケージ」 研修E「事例検討」 事例検討シート（中学校・特別支援学校中学部）

生徒の状況

- ・ 祖父（70代）と中学3年生の女子生徒の2人家族
- ・ 両親は当該生徒が幼い頃に離婚。その後は、当該生徒と母親、祖父と生活してきた。母親は、当該生徒が小学6年生の時に脳梗塞になり車椅子生活となる。その後、中学2年生の10月に死別
- ・ 平日の夕食は祖父が準備するが、それ以外の家事全般を当該生徒が担当

家庭の状況

- ・ 祖父は脚が不自由であり、10cm以上の段差の上り下りもスムーズにできないが病院の受診はしていない
- ・ 近くに住む叔母が時々ヘルプに来るが、祖父との折り合いが悪く、十分なサポートができていない

生徒の困り感

- ・ 祖父の言うことが絶対であり、例えば食事の準備について、市販のもので済ませようとする「手作りの料理が食べたい」など、自分の意思を通されることに疲れている
- ・ 健康に不安のある祖父のケアを担っている
- ・ 家事などはできるため、自身をヤングケアラーとは認識していないが、放課後の活動が制限されることや、進路への不安から家に帰りたくない気持ちが強い

事例検討の進め方

ステップ1

本事案で阻害されていると思われる「子どもの権利」を洗い出しましょう。

ステップ2

本事案で支援を必要としているのは誰でしょう。また、必要とされる支援はどのようなものでしょう。

ステップ3

ステップ1、2で話し合ったことを、全体で共有しましょう。
あなたのグループでは足りなかった視点について整理しましょう。

ステップ4

学校ができる支援、連携する関係機関を整理しましょう。